

地域医療連携室 NEWS



平成 26 年 2 月発行 第 22 号
医療法人札幌清田病院 地域医療連携室

第 31 回地域健康セミナーを実施しました！

「がんを知っていますか？」

平成 26 年 1 月 28 日（火）14：30～15：30 当院 2 階会議室にて医師の岡本哲郎を講師として、地域健康セミナーを開催しました。小雪の降る中 15 名の方にご参加頂き、ありがとうございました。

ちょっぴりですが講演のダイジェストをお伝えします★

現在、日本人の死亡原因の約 3 割で 2 人に 1 人になると言われている「がん」について、検診や診断、治療法を中心にお話させて頂きました。



がんは見つかるまでに 10 年から 20 年かかります。セミナーでは、大腸ポリープを例に、遺伝子変化を積み重ねてがん（悪性）になる経過を見て頂きました。

たばこによる肺がん、動物性脂肪による大腸がん、乳がん、前立腺がん、子宮体がんなど食生活の欧米化で「がんの欧米化」が進んでいます。たばこがなくなれば男性のがんが 3 分の 1 減ると言われていますが、肺がんだけのことではなく、食道、胃、肝臓、膵臓、子宮頸部などにも因果関係があります。

早期に見つければがんは完治しますが、早期がんのうちに発見できる時間は、たった 1～2 年です。がんが検診の段階で見つかった場合と自覚症状が出てから見つかった場合とでは、5 年生存率は大きく異なります。

現在、がんの治療は進歩しており、治療法は自分で選ぶ時代です。治療法の組み合わせとして、内視鏡治療、抗がん剤と手術、抗がん剤と放射線などがあり、抗がん剤治療も進歩しています。セミナーでは大腸ポリープ（大腸がん）の切除術や食道がんの化学療法（抗がん剤治療）の変化の写真を見て頂きました。さらに痛みやつらさに対する緩和ケアについてもお話させて頂きました。

最後に「がん」で命を落とさないために次のことを心がきましょう。

1. 「たばこ」はやめよう
2. 和食を食べよう
3. 毎年検診を受けよう
4. 精密検査を受けよう
5. 適切な治療を受けよう

次回は、平成 26 年 2 月 28 日（金）『糖尿病のお薬と運動療法』をテーマに、理学療法士の山田文之と薬剤師の因幡邦彦より、お話をさせて頂きます。皆様のご参加お待ちしております。

平成 26 年 2 月発行 第 22 号

〒004-0831 札幌市清田区真栄 1 条 1 丁目 1-1 地域医療連携室

電話 011-883-6111（代表） 011-883-6114（直通）

発行責任者：医療法人札幌清田病院 地域医療連携室室長 井原康二（副院長）